

支部総会報告

東京支部総会開催

オカリナ演奏と

諏訪大社に

ついでに講演

平成26年度東京支部総会が5月24日に日本教育会館の喜山倶楽部で行われた。母校より倉田吉春学校長、原康倫教頭、小平紀文、小口祐希枝同窓会事務局員に出席いただき、恩師では北澤潤一郎、五藤慶子、茅野正、千葉安都子、増澤三平、両角はつの諸先生方にご出席いただいた。同窓会本部からは大久保一會長はじめ15名の参加があり、東海支部長の小口正人氏も出席した。東京支部会員と合わせる

と約130名の出席者となり盛大な総会となった。

会は野田副支部長の司会で物語者への黙祷、原副支部長指揮、石田ひろ江会員のピアノ伴奏による校歌斉唱で始まった。

武藤支部長は挨拶で日頃の支部運営への協力に感謝し、更に支部が発展するよう支援を訴えた。倉田学校長からは母校の近況や県下の高校の再編などの説明があり、恩師を代表して北澤潤一郎先生から懐かしい教員時代のお話があった。大久保會長からは母校の創立百周年への協力要請があった。

続いて議事に入り平成25年度業務報告と会計収支報告、同監査報告があり、満場一致で承認された。続いて若干の役員改選の報告があった。

アトラクションでは支部長の友人である高橋正雄氏によるオ

諏訪支部定期総会

5月17日(土)午後3時30分より本会の総会に先立ち諏訪支部定期総会が「ラコ華乃井ホテル」にて開催された。

議事

一・平成25年度事業報告、会計報告並びに監査報告。承認

一・役員改選。

支部長(高島地区)宮下孝正
副支部長(城北地区)宮坂正義
副支部長(高島地区)河西克朗
副支部長(城南地区)内山まさ子
副支部長(四賀地区)北澤淳志
副支部長(豊田地区)守矢常夫
副支部長(中洲地区)矢島政紀
副支部長(湖南地区)藤澤輝雄
監事(高島地区)高橋道子
監事(高島地区)二木慎人
一・平成26年度事業計画(案)、会計予算(案)。以上原案どおり承認可決された。

下諏訪支部総会開催

10月18日同窓会下諏訪支部の総会が下諏訪町の「食祭館」に於いて本部會長大久保一様はじめ役員の方々、倉田吉春校長先生、そして増沢三平先生をこ来賓に迎えて盛大裡に開催されました。茅野正先生(28年卒)によるご講演をいただき「江戸時



県諏訪実業高等学校同窓会



オカリナを演奏する高橋さん

カリナ演奏があり、澄んだ音色に魅了された。オカリナの伴奏に合わせて「浜辺の歌」など6曲を全員で斉唱し、楽しんだ。

続いて本校53年卒業の浅野正美氏による「諏訪大社の古代信仰」と題する講演があり、スライドを使ったかなり詳しい系図説明もあり、大変興味深いお話

代の貨幣制度と物価」の講演で当時の暮らしと現在の物価との比較を資料にもとづきお話しいただきました。

武居範好支部長ご勇退の為支部長改選の議事に入り満場一致で次期支部長に渡辺啓吾氏(38年卒)に就任いただいた。

次期支部役員は次の通りです。

支部長 渡辺啓吾
副支部長 武居千代子・北村勝人・佐藤美恵子・山田ちづ子・藤森康弘・鈴木純子
事務局長 尾上貴臣
副支部長 花岡廣子
(尾上貴臣記)

岡谷支部総会開催

校歌斉唱に始まり逍遙歌で終わる岡谷支部総会は4月25日岡谷市内の中華料理店湖苑で開いた。

本校北原康倫教頭、大久保同窓會長、藤沢輝雄、村田美香子副會長、小口事務局が来賓で出

であった。

懇親会は宮下孝正副會長の乾杯の音頭で始まり、恩師、本部役員、他支部の人々、会員同士の歓談が続いた。出身中学校別にステージで懐かしい歌を合唱し、全員で逍遙歌を歌い、万歳三唱、飛び入りの木遣りやエールもあり、5時間に及ぶ総会と懇親会が開きとなった。

(東京支部長 武藤光史記)



諏訪大社について話す浅野さん

「同窓生の協力により学校行事は順調だ」と更に協力を求めた。大久保會長は「諏訪実業高校は近く100周年を迎える。岡谷支部の同窓生に期待しています」と挨拶した。

続いて叙勲、天皇陛下の円遊会に招かれた牛山英一さんから「私の榮譽は諏訪実業高校で培った力と同窓生皆さんの後押しのおかげだ。社会の一員として学校の誇りとして更に頑張りたい」と語った。

10年ぶりの総会とあって懐かしさに手を取り合い、和やかな会話がはずんだ。

「入学はしたが毎日校庭づくりの石拾いの作業だった」「学校の風呂に授業中入ったのがバレて、湯漬けにされた」「諏訪湖横断に優勝、母校水泳部も活躍した」「汽車(D51)に乗るのが嬉しくて新宿まで行って帰り授業をサボって立たされた。」など昔話がしきりだった。

校歌、逍遙歌、応援歌を在校生に教え込んでほしいとする要望が強かった。

(廣瀬記 27年卒)

同年同級会開催

Bクラス同級会

今年第一回目開催
6月7・8日に蓼科グランドホテル滝の湯で今年第一回目の同級会を泊まりで行いました。卒業後、毎年2回開催を目標に



全員で校歌を唄う

員と仲間を増やして頑張りたい」と抱負を語り結束を誓い合った。会議は野沢知之さんの司会により原教頭が学校の現況を説明

旧交を温めようと、50年以上続けています。遠方の友から「そろそろやらないか」という催促が万年幹事のもとに入るが、この催促が今まで続けられている主な要因です。

隅田川下りの屋形船で宴会をしたり、東京スカイツリーを見たり、石和温泉等に行ったりして楽しんでいます。

我がB組はダベリングを得意とする者が多く、笑いの絶えないクラスで、深夜まで飲み明かし語り合う二日間です。ただ今回少し残念だったことは、参加者が今までで一番少なく10名だけだったことです。

平成26年6月2日に朱白にて「石川進先生の傘寿のお祝い」と私たちの古稀を祝う会を開催し、楽しい一夜をすごしました。古稀祝い足腰がばい集まる友は

諏実ころの笑顔を偲ぶ

(細川 元記)

昭和37年卒3年C組

石川進先生の傘寿と我々の古稀を祝う会

昭和43年卒(Aクラス)
同級会を10月16日に上諏訪浜の湯で4年ぶりに開催致しました。久しぶりのことで、東京方面からの参加者を含め、22人も集まりました。一人一人近況報



喜びの受章

一ノ瀬 勉さん
(昭和38年卒・下諏訪町)

県更生保護大会で、一ノ瀬勉さん(70)が長年にわたる更生保護活動の功績が認められ法務大臣表彰を受章されました。

一ノ瀬さんは1998年に保護司に就任し、今年で17年間従事してきました。洋菓子店を経営しながら、諏訪地区保護司会下諏訪分区分長も努め、保護観察対象者は15件にも及び店の繁忙期にも夜を徹して報告書類の作成をすることもあった。「真面目で落ち着いた性格が長続き出来た」と思われる。これまでも平成24年にはやはり功績があったとして全国保護司連盟理事長表彰も受章しています。今回の受章について「保護司の仲間や協力してもらった皆様に心から感謝をしたい」と語った。



告を行い、旧交を温めながら、大いに盛り上がりました。担任だった浜森十先生のご出席は頂けませんでしたが、同日お見舞に出かけた者が、先生の近況を報告し、目や耳の衰えはあるものの昔の記憶をしっかりと覚えていて等の話がありました。皆で昔をなつかしみながら、次回の再会を約束しつつ出席者全員の写真をとり、別れました。